

## 8月26日の米国株式市場の下落について ジャクソンホール会議でのパウエル議長講演に警戒感

2022年8月29日

### 市場の先走った利下げ転換期待にパウエル議長が冷や水を浴びせる

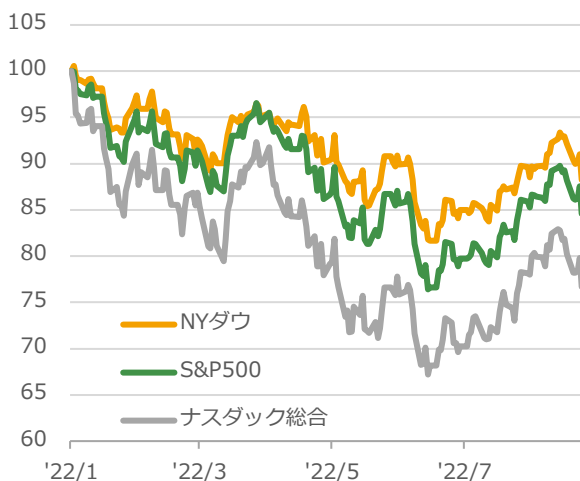
8月26日（現地）、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長は、カンザスシティ連銀主催の経済シンポジウム（通称ジャクソンホール会議）で「金融政策と物価の安定」と題した講演を行いました。これを受けた同日の米国株式市場は、NYダウ、S&P500、ナスダック総合の主要3指数が、いずれも3%を超えて大幅に下落しました。パウエル議長の講演が、金融引き締めに積極的と受け取られたようです。

パウエル議長は今後の金融政策について、9月のFOMCにおいても0.75%ポイントという異例の大幅な利上げを行う可能性があること、ただし最終的な決定は今後の経済データ次第であること、また将来的には利上げ幅の縮小が適切になるであろうことなど、最近の発言を繰り返しました。その一方、高インフレの定着は経済にマイナスであることや、インフレを引き下げ安定させるには長期間の金融引き締めが必要であることなども指摘しました。また、金融引き締めによる景気の減速は家計や企業に痛みをもたらすが、物価安定の回復に失敗する方がより大きな痛みをもたらすとも述べました。これらを受けて市場参加者は、FRBが景気を犠牲にしてもインフレ抑制とその定着に全力を尽くすと警戒感を高めたようです。

しかし、パウエル議長が注意喚起したとすれば、6月後半から8月にかけてみられた先走った利下げ転換期待に対してであり、市場を過度に不安定化させる意図はないと思われます。今後の米国株式市場はインフレ鈍化と景気減速のバランスを見極めつつ推移していくと想定されます。

#### 主要米国株価指数

(2022年1月初～2022年8月26日)



※2022年1月初を100として指数化

(出所) ブルームバーグ

#### 米国債利回りとFF（フェデラルファンド）金利

(%)(2022年1月初～2022年8月26日)



※FF金利は誘導目標レンジの中心値

(出所) ブルームバーグ

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management